



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之

超難問にチャレンジ ～3人寄れば 文殊の知恵～

8	か	3
5	あ	い
う	お	え

【超難問】

- 縦・横・斜めどれをたしても同じ数にしましょう
- 1～9とは限りません。
- 同じ数は使えません

あいているますをうめましょう
あ～か に入る数字を教えてください。

※ ヒント

あ→い→う→え→お→か の順序で求めるといいよ

これは、私が5年生向けに出している「校長先生からの挑戦状」の最新版の問題です。もちろん、小学校の算数の技能があれば、答えは導き出せる問題なのですが、なかなかの難問であると思います。

今回の出題にあたっては、極論すれば「誰もできなくてもいい」と思って出題しました。別な言い方をすれば「北小の子ども達の実態を知りたい」と思って出題したものでした。というのも、「最近の子ども達は一見とても素直でいい子たちだが、ちょっとむずかしいこと、ちょっと困難なことはすぐに諦めて、挑戦しない」という話をよく耳にしていたので、「北小の子ども達はどうかかな？」とちょっと確かめてみたくて、あえて難しい問題を出してみたのです。

結果、問題を出しても全く反応なし。校長室を訪ねてくる子は誰もいませんでした。これまで出したきた問題では、難易度の差はあるにせよ、すぐに食いついてくる子がいたので「んーやっぱりちょっと難しかったかー」「諦めちゃうのかな？」とっていました。

問題を出してからちょうど1週間がたった21日朝のことでした。朝のあいさつ指導を終え、校長室にもどってくると、廊下で5年生の男女4人が今か今かと待っていたのでした。校長室に入るなり、子ども達は

「失礼しまーす。『超難問』が解けたのでできました。」とやってきました。

問題を出してから、随分と時間がたっていたので「えっ」と思いましたが、

「本当？かなり難しいはずだけど？やり方を説明してくれるかな」と伝えました。すると

子ども達は「この縦の……斜めの……」

と自分の解き方を自信たっぷりに答えてくれたのでした。そして、見事「正解！！」

私から合格証を渡すと本当に嬉しそうに受け取り、教室に帰っていきました。

後で担任から話を聞くと、私が出張で一日学校を開けていた20日から子ども達は答えを早く伝えたくてうずうずして待っていたこと、みんなで協力しながら答えを導き出したこと等がわかりました。

まさに、知的好奇心のかたまり、「3人寄れば文殊の知恵」の体現でした。全員が全員というわけにはもちろんいきませんが、子ども達は自分にとって楽しければ、本気を出すし、自分が興味があれば、時間をわすれて取り組むのです。これは、子どもだけでなく、大人でも同じことですよね。そんな当たり前のことを忘れて、ちょっとでも子ども達を十把一絡げでとらえようとしていた自分が恥ずかしくもありました。

やっぱり子ども達はすごい。可能性は無量大。どう伸ばしていけるかは周囲の関わりが大きいなああとつくづく思いました。

秋の夜長、是非ご家庭で、この問題に挑戦してみただけであれば幸いです。答えがわかったら是非、担任まで伝えてくださいね。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）～